

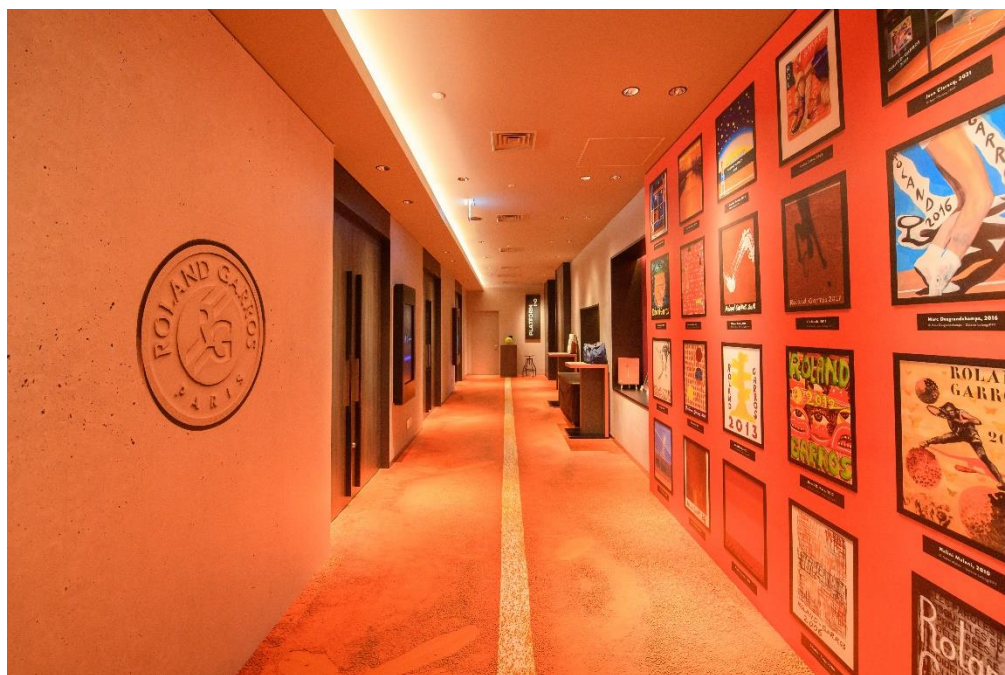


Press Release

2026 年 10 月 14 日

フランス・テニス連盟

ローランギャロス ジュニア シリーズ by ルノー オープニングセレモニーをプルマン東京田町で開催 —フランスのテニス文化と日本の伝統が交差する一夜—



「ローランギャロス ジュニア シリーズ by ルノー」2026 年東京大会のオープニングセレモニーが、10 月 13 日（火）、大会オフィシャルパートナーである [ALL Accor](#) のネットワークに加盟する [プルマン東京田町](#) で開催されました。

会場となったプルマン東京田町は、ローランギャロスのスピリットから着想を得た世界初のホテルです。館内には、パリのレッドクレーを思わせる色彩や質感を取り入れた設えが広がり、ローランギャロスの世界観がゲストを迎えました。そのモチーフは客室にも取り入れられ、館内にはゲストが気軽に遊び、交流を楽しめる工夫も施されています。

こうした空間を舞台に、セレモニーからカクテルパーティーへと続くプログラムが展開されました。テニスに音楽やアートが重なり、ゲストが交流を楽しみながら、ローランギャロスの多彩な魅力に触れる一夜となりました。コートの外にも広がるその世界観を通じて、大会の開幕を華やかに祝い、これから繰り広げられる試合への期待を高めました。

■ジャスティン・エナンと松岡修造が選手たちを歓迎

オープニングセレモニーには、グランドスラム通算 7 勝、ローランギャロス 4 度優勝を誇る大会アンバサダーのジャスティン・エナンが、2 年連続で東京を訪れ登場しました。さらに、日本を代表するテニスプレーヤーの一人である松岡修造をスペシャルゲストに迎えました。



■ジャスティン・エナンが語る、ローランギャロスへの想いと次世代へのメッセージ



大会アンバサダーのジャスティン・エナンは、2003 年のローランギャロス初優勝を振り返り、幼い頃の夢と母との約束がかなった特別な瞬間だったと語りました。また、日本やアジアの若い選手の可能性に期待を寄せ、自分を信じ、クレイで経験を積むことの大切さを強調しました。クレイでのプレーは身体能力や忍耐力、精神面の成長にもつながると説明。自身の経験やテニスへの愛情を次世代に伝えたいとし、本大会が勝敗にかかわらず、すべての選手にとって未来を考える機会となることを願いました。

■フランスのテニス文化と日本の芸術表現が融合



フランスのテニス文化と日本の芸術表現が会う文化プログラムとして、日本人書道アーティストの Maaya Wakasugi を迎え、ステージ上でライブキャンバス・パフォーマンスを実施しました。来場者が見守る中、身体全体を使った力強くしなやかな筆運びで、作品が生まれていく瞬間そのものを表現。日本の伝統である書道に現代的な感性を重ね、ローランギャロスのスピリットと日本ならではの芸術表現のエネルギーを融合させたオリジナル作品を、リアルタイムで完成させました。

ステージは、Maaya 氏によるライブ制作から始まり、ジャスティン・エナンとのコラボレーション、さらに松岡修造氏との書道対決へと展開。書を通じてテニスとアートが響き合う、3 つのパフォーマンスが披露されました。



それぞれの感性とローランギャロスへの思いが表現された、当日のステージの様子をご紹介します。

書道アーティストの Maaya Wakasugi 氏は、ローランギャロスの赤土を思わせる色のキャンバスをテニスコートに見立て、オープンマインドを意味する「開」の文字を赤い草書で表現。左側にはテニスコートのラインを象徴する白い線を引き、作品を完成させました。

続いて、ジャスティン・エナンが筆でテニスボールを思わせる金色の円を色紙に描き、Maaya 氏がその中央に「心」の文字を加えてコラボレーション作品を完成させました。

松岡修造と Maaya 氏による書道対決では、サプライズで出された「赤土」というお題を受け、制限時間 1 分でそれぞれの言葉を表現。松岡氏は、ローランギャロスのレッドクレイを表す「赤」に、ジュニア選手たちの大会に懸ける思いや激闘、熱戦を重ね、一般にいう「青春」を自身にとっての「赤春」として書き上げました。

一方、Maaya 氏は、レッドクレイでのプレーに欠かせない「滑る」動きから、ローランギャロスへの思いを込めて「滑」の一文字を表現しました。

テニスと日本の書、それぞれの世界が響き合う特別なひとときとなりました。

■チャラン・ポ・ランタンのライブが彩る、華やかなカクテルパーティー

セレモニーに続いて開催されたカクテルパーティーでは、ドリンクや料理が振る舞われ、ゲストが交流を楽しみました。会場では、チャラン・ポ・ランタンがライブパフォーマンスを披露。音楽とともに大会の開幕を祝う、華やかなひとときとなりました。



■ALL Accor がローランギャロスのスピリットを日本へ

大会オフィシャルパートナーであり、Accor のトラベル&ライフスタイル会員プログラムである ALL Accor は、この 10 月、ローランギャロスのスピリットを再び日本へ届けます。スポーツ、カルチャー、トラベルへの情熱とつながる特別な体験を、会員に提供します。



■10月14日から第一生命相娛園テニスコートで競技開始



「ローランギャロス ジュニア シリーズ by ルノー」2026 年東京大会は、10 月 14 日(水)から 18 日(日)まで、第一生命相娛園テニスコート(東京都世田谷区)で開催されます。アジア各国・地域から集まった 17 歳以下のジュニア選手 32 名が、屋外のレッドクレイコートで競います。男女の優勝者には、2027 年にパリで開催される「ローランギャロス ジュニアトーナメント」本戦への出場権が与えられます。

準決勝と決勝は WOWOW で日本国内向けに放送されるほか、スターテニスアカデミー公式 YouTube チャンネルおよびローランギャロス公式 YouTube チャンネルを通じて世界に向けて配信されます。

※大会の最新情報: #RGJapan | @RolandGarros

■ローランギャロス ジュニア シリーズ by ルノー 大会概要

- 大会日程:2026 年 10 月 12 日(月)~18 日(日) ※競技は 10 月 14 日(水)から開始
- 競技会場:第一生命相娛園テニスコート(東京都世田谷区給田 1 丁目 1)
- 競 技:10 月 14 日(水)~16 日(金)ラウンドロビン、17 日(土)準決勝、18 日(日)決勝
- 出場選手:17 歳未満のジュニア選手 32 名(男子 16 名・女子 16 名)
- 大会アンバサダー:ジャスティン・エナン
- プレゼンティングパートナー:ルノー
- オフィシャルパートナー:ALL Accor、BNP パリバ、ラコステ、ウィルソン
- 協力競技団体:アジアテニス連盟(ATF)、日本テニス協会(JTA)

■放送・配信スケジュール

<WOWOW、スターテニスアカデミー、ローランギャロス公式 YouTube>

10 月 17 日(土)11:30~ 準決勝

10 月 18 日(日)13:00~ 決勝

■ローランギャロス(全仏オープン)テニスについて

ローランギャロス(全仏オープン)は、フランス・テニス連盟(FFT)が主催する、世界四大テニス大会(グランドスラム)のひとつで、毎年 5 月下旬から 6 月上旬にかけてパリで開催されます。特徴は赤土のクレイコートで行わ

れること。ラリーが長く、フィジカルと戦術力が問われる大会として知られています。大会では、男子・女子のブ
ロ部門に加え、18 歳以下のジュニア部門も同時に開催され、次世代のスター選手が世界デビューする登竜門と
して注目されています。主催者である FFT は、若手育成に力を入れており、「ローランギャロス ジュニア シリー
ズ by ルノー」などを通じて国際的な才能の発掘と支援を行っています。

■オフィシャル素材は下記のリンクよりご確認ください。

<https://drive.google.com/drive/folders/1r87Y9epr1kjl4ilzwaozMF8TsTGQK7hF?usp=sharing>

■本件に関するメディアの皆さまのお問い合わせ

Florent DABADIE

FFT - Japan Tournament Media Manager

new.office.fd@me.com

+81 70 4206 1583

Hibiki NAKATAKE

Samba Digital - Official PR agency

hibiki.nakatake@sambadigital.com

+33 6 11 87 91 58

<ローランギャロス ジュニア シリーズ by ルノー PR 事務局／stop monkeying around 株式会社 内>

担当:坂井 秀彦、西辻 圭子

連絡先:090-6659-0465(坂井) 080-5689-6634(西辻)

Email:roland-garros@stopmonkeying.net